

しこおり表茶”は、選手達のこの乾ききつた咽喉を神様のように潤おわせてくれました。

支部選手たちの活躍は、男子一部でJR東日本高崎が決勝戦に進出、相手は沼田尚修館です。イーブンで迎えた代表者戦はJR小竹、尚修館武藤。時間内に勝負つかず延長、開始後十分余、小竹が小手技に出るが僅かに浅く、すかさず面に出た武藤に旗二本が上がり勝負があつた。JR本当に惜敗です。

壮年の部では桑原（N T T高崎）が安定した実力で順当に決勝へ、相手は尾瀬剣友会、今年壮年部入りした、よくよく動ける金子選手です。試合後半、小柄な体躯からグンと伸び出してきた金子の面、この予想外の面を



三位入賞 石田

かわし切れず桑原一本失いそのまま試合終了となり惜しい一戦であった。また高崎武道館の石田も活躍し三位に入賞いたしました。この外にも支



裏方たんぼぼさん 憩いのひと時

部選手の多くの活躍がありました。大会運営に携わった役員の方々、そして多くの裏方さん本当にご苦労様でした。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



気は早く心静かに 身は軽く 目は明らかに 技は激しく

第45回 群馬県中学校剣道大会

高南	雄志東	尾島	桜木	藤点	野野	綿打	堀米	塚沢
△	△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△	△

全勝で決勝トーナメント戦へ 高南女子 塚沢男子もラッキー



高南女子チーム

七月三〇・三一・八月一日の三日間群馬県武道館で第四五回群馬県中学校剣道大会が開催された。参加した生徒たちは、(特に三年生)は部活動の総決算にあたる大会である。高崎支部からは団体は男子塚沢中、女子高南中が出場し、他に個人戦で男子十一名女子九名が出場しました。大会は三十



堀米選手鮮やかな面を奪う

女子高南は決勝トーナメントで強豪前橋七中と対戦し奮戦したが四敗一分で敗退、塚沢も奮戦及ばずの結果と相なりました。

翌日は団体戦が行われました。女子高南チームはFブロックで、雄志東、尾島、桜木の三校と戦いました。一戦目は四勝一分け、二戦目は四勝一敗

日は個人戦三回戦まで三十一日は個人戦決勝までと団体リーグ戦、一日に団体決勝トーナメントの順序で運営されました。三十日個人戦では、男子で佐野中の齊川雄一郎が、また女子は八幡中の宮崎奈々子がそれぞれ三回戦まで進み大活躍をしました。



果敢に攻める清水健選手

三戦目は三勝一敗一分けと輝かしい成績で決勝トーナメント入りを果たしました。男子塚沢チームはAブロックで昨年の優勝高新田綿打中と中之条中と戦

いました。綿打中とは大分訓練させられました。中之条とは五分五分でしたが、わずかの本数差で決勝トーナメントへ進出することできました。男子高南は決勝トーナメントで強豪前橋七中と対戦し奮戦したが四敗一分で敗退、塚沢も奮戦及ばずの結果と相なりました。

全日本少年剣道練成大会

☆☆☆☆☆☆☆☆慶雲館チームは二回戦へ
全国区レベルは富士山の頂上のようにだ



少年剣道形

七月二六・二七日の二日間、東京日本武道館で全日本少年剣道練成大会が開催されました。高崎

支部からは慶雲館、発心館、高崎剣道教室の三道場が参加しました。全国大会ですから、武道館に集った選手の数は相当数だ。武道館に入場するのにも数十分かかるほどだ。大会はまずは入場行進から開始され、開会式の中



入場

では、こども選手による剣道形が披露され凛々しい子供達にため息をつきました。
試合は打ち込みで一本と立会いで一本を決する形式で行われました。
発心館と高崎剣道教室は、残念ながら全く相手にしてもらえなかつ



慶雲館・藤木面を決める右



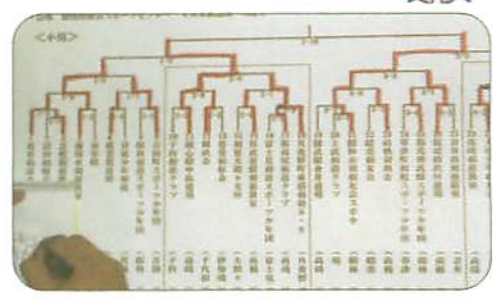
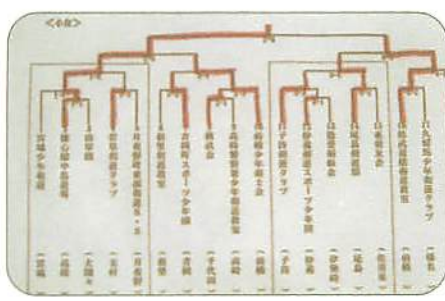
発心館

た。慶雲館は頑張りました。試合推移五分の中で、大将藤木が見事な面技を決めて二回戦に進出いたしました。
全国区の試合で、一戦でも勝ち進むことは大変なこと。まずは一戦勝利が来年の目標ですね。

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

中島道場アベック優勝だ

△△△△△△△△△△△△△△△△



八月三日群馬武道館でスポーツ少年剣道県大会が開催されました。高崎支部からは、七月に藤岡体育館で行われた西毛地区予選会を勝ち抜いてきた、金井道場・慶雲館・新高尾クラブ・高崎警察少年・高崎剣道教室・中島道場がそれぞれ参加しました。
一回戦、二回戦と散つてゆく高崎チーム。そんな中で中島道場は、男女ともに大奮戦。とうとう決勝まで勝ち進みました。

スポーツ少年 剣道県大会



男子は館林赤羽剣友会チーム、女子は県武道館剣道教室チームとそれぞれ決戦だ。それぞれの試合引き分けも多く力量五分五分であったが、ここぞと云う時の勝負魂がわずかに中島道場が勝っていた。男女とも相手チームを退けアベック優勝(写真右左)を成し遂げました。

平成十五年度 群馬県剣道選手権大会 新田支部の 茂木選手 優勝

八月三十一日県武道館で群馬県剣道選手権大会が開催された。この大会は全日本剣道選手権の県代表を決める大会でもある。高崎支部からも小幡・石田・神山・高橋・川原・西山らが参加しました。



茂木・左

決勝は、新田支部の茂木選手と勢多支部の猪熊選手が戦いました。茂木選手は決勝まで淡々と大技を決め、どっしりとした心持で決勝に臨み、一方猪熊選手は、準決勝戦で延長数十分戦ってきての決勝戦であった。誰しも茂木に利ありと見ての決勝であった。試合は予想のごとく茂木選手が差ほどの労もなく立て続けに面技を決めて優勝した。十一月三日の全日本選手権もきつと好試合を演じてくれるでしょう。

堀越 豊さん (発心館) 祝 六段合格 群馬 敏雄さん (金井道場)

8月10日県武道館で全剣連による六段審査会が開催されました。全国から数多くの剣道愛好家が老若男女問わず挑戦いたしました。もちろん県内の人にはまたとない好機と多くの方が挑戦し、高崎支部の堀越さんと群馬さんのお二方が難関を打ち崩し見事に六段位を射止められました。

こころからお祝い申し上げます。



嬉しい手を休めて

本が優勝しました。そしてこの大会に参加をさせていただきました。私達の防具の繕いの面倒を日々いただいている西山啓市さんです。 ボランティアで外国人選手の防具の修理のため数人の職人仲間と参加されました。今回で三回目とのこと。数日間の手がけた数は二百体にもな

す技術が欧州のほうにはないそうです。あまったなめし皮はすべて寄付をしなければなりません。外国の人はちが防具の修繕にはきつと本当に気の滅入る思いをされているのでしよう。だから西山さんらの活動は、現地で本当に外国人選手たちに感謝されたことと確信いたします。本当にご苦労様でした。

七月初旬、英国グラスゴー市で世界剣道選手権が開催されました。 この大会の様子はNHKの北海道・栄花選手を追ったドキュメンタリーの中で多くの剣道愛好者をご覧になったことと思います。結果は”世界一の突き技”と絶賛された栄花選手の活躍などで日

ぼるそうです。 向こうでは修理する人はいないので”か？”器用に針を操る人はおりませんが、材料なんです。ないんです。なめし皮...” 鹿の皮をなめ

☆☆☆☆☆ 欧州防具 つくろの事情 世界剣道選手権大会



バーンバイフ奪者と

たそがれも一身めができました。なかなか、ひと様に積極的に見せるまでにはいたりませんが、支部の活動のメモリアルとして保存しておきたいと考えております。 寒い夏もようやく果ててこの季節外れの暑い日が連日です。時が経てば道場をくぐる風もさとなりましよう。それぞれ技を磨くには最高の季節になります。



当月の支部行事予定

- 九月十五日 一級審査会 市武道館
- 九月二十三日 初・二段講習会市武道館
- 十月五日 初・二段審査会市武道館
- 十月十三日 市民大会 市武道館
- 十一月三日 カップビア剣道大会 フェアリーランド
- 十一月二十三日 スポーツ少年団剣道大会 市武道館
- 十一月二十三日 西毛地区剣道大会 藤岡市体育館
- 十二月 七日 県道場連盟小中学生剣道練成大会 群馬武道館
- 十二月 九日 支部忘年会 ジョイ平安